



樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501
発行日 令和4年11月30日

主体的な学び手になることを目指して



3年次「自己表現」：米沢市長と意見交換



2年次：カルタで交流



1年次：外部講師による講話

本校では、課題を自ら発見し他と協働してその解決の方策を考えるという探究的な学びを通して、主体的に学ぶ態度を育成しようとしています。各年次での取組を紹介します。

【3年次】

選択授業『自己表現』では帯広市都市政策課のご協力を得て「まちづくり」をテーマに探究活動をしています。現在、「稲田地区」「広小路商店街」「緑ヶ丘公園周辺」について取り組んでいます。そのうち「緑ヶ丘公園周辺」クラスに米沢則寿帯広市長が参加。生徒たちのグループに混じって意見交換をしていただきました。その中で市長は経営的な視点を持つことや対象をどう設定するかが重要だと指摘してくださいました。生徒たちは12月14日に考えをまとめ発表する予定です。

【2年次】

十勝在住のイングリッシュスピーカーを招いて交流活動をすることで、国際理解の意識や英語力向上のきっかけづくりを目的としたSGG（Sanjo Global Gateway）を18日実施しました。昔の遊び・折り紙・昔話・日本の歴史・歌・音楽など9つのグループに分かれ交流しました。来ていただいた方には昨年に引き続き来てくださった方もいて、

この交流を楽しみにしていたという声をいただきました。生徒たちも「楽しかった」という声が多かったのですが、中には「緊張してなかなか話すことができなかった」「慣れてきたらもう終わりだった。もっと時間がほしかった」「相手の会話に反応できなかった」など反省の声もありました。これから使える英語をマスターし、世界を舞台に活躍できる人材に成長できることを願っています。

【1年次】

地域課題をテーマにした15の探究ゼミに、1年次生全てが所属し探究活動を展開しています。それぞれのテーマに沿って活動していますが、中には外部人材や企業さんが参加してくださっているゼミもあります。既に報道されましたが、「商品開発」ではおからハンバーグの商品化を生徒が考えています。「観光」では日本旅行さんの協力をいただいて十勝の観光プランを考えています。「教育」では12月に、本校の先輩で今年度から天売高校に家庭科教員として赴任した村上成美さんからお話を伺う予定です。このように多くの方々からの刺激もいただいて、十勝の魅力や課題を自分事としてとらえ、多くの気づきを得ているものと思います。2月にまとめた発表を予定しています。

PTA生徒会対話会開催



11日に生徒会とPTA役員会との対話会が開催されました。生徒会からは鎌田潤音会長をはじめとする9名が出席。PTAからは梶本直哉会長、酒井千都世総務、そして坂本芳美体文会長の3名の出席をいただきました。生徒会から次年度の学校祭について、コロナが収束した際にはPTAバザーの協力をお願いしたいとの申し入れに、PTA側も「その際は是非協力したい」と心強いお返事をいただきました。また、教室全

てにスズメバチ対策として網戸と玄関に傘立ての設置を要望する意見が生徒会から出されました。網戸については事務長から「現在も道にお願いしていますが、引き続き要望していきます」との回答がありました。また、傘立てに関しては、設置場所や方法など先生方でも検討していくことになりました。

10月の節電運動、目標達成！

独自の節電運動 ～目指せ！マイナス昨年度比10%！～を展開していることは以前お伝えしましたが、その結果が出ました。マイナス10%の目標でしたが、見事マイナス20%を果たしました。ご協力に感謝します。節電運動はいたってシンプルです。「使わない電気は消しましょう！」です。必要な電気は使って構わないのです。暗い中で我慢して勉強なんてしないでください。ただ「全部つけなくても大丈夫だな」と思ったらそうしてください。今回もこうした小さな積み重ねの結果だと思います。引き続きご協力よろしくお願いします！

	10月
昨年度	17,785kWh
目標(マイナス10%)	16,006kWh
今年度	14,136kWh

第26回 2-5担任・女子バスケット部顧問 小宮 徹 教諭

悔いのない人生を生きたい

◇SGGでの生徒を見て

英語での交流活動 (SGG)で生徒たちは「楽しかった」と口にしていましたが、あらかじめ用意していたことを伝えることはできても、それ以上のこと、例えば予期しない質問や反応などに対して思っていることを口にするのは難しい様子でした。勉強としての英語はできても、実際のやりとりとなると英語が口から出てこないというもどかしさを感じた人も多かったようです。それが当たり前だと思うのですが、それをこのまま忘れてしまうか、もっと使える英語になるよう高めていこうとするか、ここからがスタートですね。今回いらしたブルーノさんは「きちんとした文を作ろうとしすぎかな。気持ちを伝えるにはそれ以外の方法もある」という話をしてくれました。その通りだと思います。

◇土幌高校でのホームステイ体験

三条高校に赴任する前は土幌高校に勤めていました。その時、生徒とともにアメリカ・コロラド州デンバーでホームステイを体験しました。私も生徒も英語はできません。でも英語しかない環境に放り出されると何とかしようとするものです。その時の状況や聞き取れた単語で相手の言わんとすることを想像し、こちらからも単語を並べるだけでしたが、それでも意志は通じ合うから不思議です。生徒もホームステイ先の子どもと一緒に遊びに行ったり、私もホストファーザーとお酒を一緒に飲みに行ったりして大いに楽しむことができました。異文化交流は体当たりだなと思ったものです。たと言葉が通じなくても最初の一步を踏み出すことが大切です。とは言っても、その一步には勇気が必要です。何だって初めの一步は怖いものです。

◇私にとっての最初の一步

私は埼玉県に生まれ、高校まで地元。大学も東京の大学に自宅から通いましたが、高校3年の担任の先生に憧れて教員を志すようになりました。とても魅力的な先生で、話をすると、とにかく引き込まれるのです。学校祭の時には、先生から呼び出されて「学校祭、どうするの?」と聞かれました。要は、なかなか盛り上がらないクラスを何とかしろということなのですが、私一人ではうまくいけません。そうするうちに、「焼肉するから自宅まで来い」と言うのです。行ってみると何人か生徒がいて、外で焼肉を振る舞ってくれるわけです。北海道と違って外で焼肉という文化は埼玉にはありませんから、とても驚いたものです。「じゃ、やってみるか」とみんなで言い合いました。

そんな先生がよく言っていたのは「悔いのない人生を生きなさい」でした。私は北海道の教員採用試験に合格し、教育委員会から電話で「赴任先が霧多布ですがどうしますか?」と聞かれて、そこがどんな所かも知らず「行きます」と答えていました。悔いのない人生を送るために最初の一步を踏み出したというわけです。

私も恩師のような魅力ある教員になっているかはわかりませんが、悔いのない生き方をしようと日々を送っていることは確かです。



インタビュー

きらり

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

新しく生徒会長になった

2年1組 鎌田潤音 さん



10月14日に実施した立会演説会後の選挙で信任され、新たに生徒会長として1年間生徒会を引っ張ることになった2年1組の鎌田潤音さんにインタビューしました。

立会演説会では、全校生徒と一緒にできる学校行事を実現させたいと言いましたが、「コロナの中でも自分たちができる最

大限のことをしたいと思っています。もちろん色々な考え方もありますし、いろんな反応もあると思いますが、行事が終わって心から楽しかったと言えるような行事にしていきたいです」と抱負を述べてくれました。三条高校を先頭で引っ張っていく決意にあふれているように感じましたが、始めから三条高校志望ではなかったとのことでした。「そのまま家に近い高校に進学しようと思っていたのですが、担任の先生が三条を勧めてくださいました。それで学校説明会に来たのですが、三条は生徒が全部学校の説明をして、校舎案内もしていました。それがとても楽しそうで、良い学校だなと思うようになりました」と振り返ります。それで

入学してどうだったか尋ねると、「周囲の人がほとんど自分の知らない人というのは初めての経験だったので、とても緊張していたのを覚えています。でも、出席番号の近くの人たちがみんないい人たちで、すぐ仲良くなれて、すごくほっとしました。その時に良い学校だなんて思いました。今も三条の生徒はみんな理性的に学校生活を送っていて、いい環境だなんて思います」と笑います。

小学校の時は児童会、中学校でも生徒会に関わっていたのでもともと生徒会には興味があったということですが、入学後の部活動体験ですぐ生徒会に入ることを決めたそうです。「中学校とは違い、生徒主導で運営されていることがすぐわかりました。先輩たちの姿をみて楽しそうに思えました」

それから学校祭までは大変だったそうです。先輩たちからの指示にひたすら従って作業をこなすのに精一杯の日々。学校祭を終えて1年生同士で「先輩たちがいなくなってしまって自分たちで本当にできるのだろうか…。まして自分たちが3年の時にできるのかな」と話をしていたこともあったそうです。それが今や中心となって動かなくてはならなくなって大きな責任を感じるそうですが、「信頼できる心強い仲間がいるから大丈夫」ときっぱり。これから本格始動する鎌田執行部。今後の活躍に期待しています!

